

令和 6 年度事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

1. 事業概要

一般財団法人奈良市総合財団は、奈良市が設置する公共施設の指定管理者として、利用者の視点に立った管理運営に努め、多様化するニーズに応じてあらゆる人にとって利用しやすい施設を目指すとともに、文化・スポーツ・武道の普及振興事業及び「ならまち」・「都祁地域」の歴史文化資産を利用した地域振興事業並びに中小企業勤労者に対する福利厚生事業を実施し、文化の創造及び市民福祉の増進に努めた。

当財団の運営については、指定管理施設の減少等に加えて、近年の物価上昇等による各費用の増加により、経営基盤は大変厳しい状況となっており、毎年度の収支不足の改善に向けた取組が急務として、更なる財源確保を図るべく令和 6 年度において経営計画の策定をもって収支不足対策を具体化し、新しい事業の創出及び既定事業の見直しを実施して、収益性の確保や経費節減と事業の質的向上に取組経営改革を積極的に進めた。

今後当財団の運営にあたっては、内部統制の整備や職員の育成を積極的に進めて、市民の要請にきめ細かく応えるための努力を重ねて、地域社会の発展に寄与するべく財団運営を図っていく。

2. 事業内容

各施設の設立趣旨等を踏まえた管理運営と文化の創造と福祉の増進に寄与することを目的として文化振興事業、スポーツ・武道普及振興事業、まちづくり振興事業、勤労者福祉サービス事業、都祁地域振興事業を推進した。

(1) 文化振興事業

[指定管理施設]

管理施設の入館者数は以下のとおりであった。 ※（ ）内は対前年度増減率

なら 100 年会館	入館者数	210,609 人	(△6.4%)
------------	------	-----------	---------

奈良市美術館	入館者数	41,156 人	(△27.1%)
--------	------	----------	----------

奈良市杉岡華邨書道美術館	入館者数	8,056 人	(48.5%)
--------------	------	---------	---------

令和 6 年度における入館者数の減少の要因として、なら 100 年会館では催事等の開催回数が前年度より 20 回減少したことにより、約 14,000 人の減少がみられた。

奈良市美術館においては、催事等の回数は前年と同様であったものの、催事や貸館の利用内容の影響により約 15,000 人の減少となった。一方、奈良市杉岡華邨書道美術館では、催事等の開催回数が 21 回増加し、それに伴い約 2,600 人の入館者数の

増加がみられた。

(事業内容)

豊かな市民文化の形成を図り、鑑賞・創造・学習を柱に市民の美術鑑賞と創作活動の活性化に寄与するための事業を実施した。

○なら１００年会館

奈良にゆかりのある次世代を担う若手演奏家に対し、活動の機会を提供することを目的に「なら１００クラシックコンサート」を実施したほか、子どもやファミリー層を対象とした事業として、「０歳から楽しめるオーケストラコンサート with 大阪交響楽団」や「なら１００ふれあいコンサート あっぱれ！忍者道場」等を実施した。

また、アウトリーチ活動の一環として、帝塚山小学校に大阪交響楽団を派遣し、校内コンサートを実施したほか、ピアノ愛好者を対象に、３機種のグランドピアノを活用した「ピアノ試弾会」を開催した。

協働・共催事業としては、大宮地区自治協議会との「大宮まつり」、市民フェスティバル実行委員会との「なら市民フェスティバル」を実施した。

さらに、音楽に親しむ機会の提供として、１８歳以上を対象とした「ゆうゆうコーラス」、未就学児とその保護者を対象とした「たのしいリトミック教室」を開講した。加えて、市民の健康づくりを支援するため、「健康いきいき講座（ヨガ教室、ソフトストレッチング、ピラティス）」を実施したほか、中高年層や若年層を対象に、昭和歌謡・ポップスのコンサートや若手アーティストによる全国ツアー系コンサートを開催し、幅広い世代に対して文化活動への参加を促進した。

催事等の開催回数 ３６９回 参加人数 ５７，７４９人

○奈良市美術館

主催・共催による展覧会として、奈良市美術家協会と連携して会員による優れた作品を展示する「第４３回奈良市美術家展」、美術作品の創作意欲を高めるための公募展「第４３回市展なら」、近代奈良の芸術、歴史、生活文化を掘り下げて紹介するシリーズの企画展「奈良を観る」、児童生徒の図工美術の成果を紹介する「第２１回奈良市児童生徒作品展」、市内中学校の美術作品を紹介する「第５回奈良市中学校美術部合同展 若鹿たちの美術」、奈良市美術館活性化事業として子どもから大人まで楽しめる「永井秀幸 とびでる！錯覚３Ｄアート展」を開催し市民文化の創造と振興の促進を図った。

その他、講座関連事業として、奈良市美術家協会や奈良女子大学との連携協力による「２０２４年度市民実技講座・子どものやさしいアート体験」、「第４２回市民実技講座作品展」、「仏教美術講座」を開催し芸術文化の発信に寄与した。

催事等の開催回数 ２１回 参加人数 １６，３３４人

○奈良市杉岡華邨書道美術館

展覧会として、令和6年度はNHK大河ドラマの影響により、源氏物語やかな書への関心が高まることが予想されたため、源氏物語に登場する和歌をテーマにした「源氏礼讃・高木厚人展」や大河ドラマにて書道指導・監修をされた根本知氏の作品を紹介する「根本知の仕事」を開催した。また、杉岡華邨の兄弟弟子で奈良にゆかりの平田華邑氏の寄贈作品を紹介する「生誕110年 平田華邑の世界」、奈良教育大学との連携事業「書で巡るまほろば展」、成田山書道美術館収蔵作品を中心とした「江戸の書画—うつすしごと①市河米庵を中心に」等の企画展や館蔵作品による「高木厚人が影響を受けた—華邨の書」を開催した。

また、企画展にあわせ書道文化講演会やギャラリートーク、ミニコンサートと解説会、奈良教育大学との連携事業の講座やワークショップを開催、書道実技講座として初歩からかな書を学ぶ隔月開催の講座や集中講座、初心者でも参加できるうちわ・カレンダーを書くワークショップ、高木厚人館長が課題作品を講評・指導する講座「かなの散らしを楽しむ」、水書きで気軽に書道を体験できる「筆書き体験コーナー」や学芸員による「作品解説会」を行った。

その他にも奈良教育大学仮名書道研究室の協力により子ども向けの夏休みクイズやわらべうたフェスタでのかな書き体験のワークショップ、さらには未就学児童を対象にした「はじめての子ども筆書き体験講座」等の連携事業を行った。

また、奈良市ならまちセンターとの共催により「ならまち年賀状コンクール」や名勝大乘院庭園文化館や奈良市役所玄関ホールでの出張パネル展や道ばた美術館の開催、動画配信により奈良市杉岡華邨書道美術館の広報普及を行った。

催事等の開催回数 77回 参加人数 12,038人

(2) スポーツ・武道振興事業

[指定管理施設]

管理施設の利用者数は以下のとおりであった。 ※（ ）内は対前年度増減率

奈良市鴻ノ池陸上競技場等13体育施設

利用者数 809,677人 (△7.1%)

奈良市鴻ノ池陸上競技場

奈良市鴻ノ池球場

奈良市鴻ノ池コート

奈良市中央体育館

奈良市中央第二体育館

奈良市南部生涯スポーツセンター体育館

奈良市柏木コート

奈良市南部生涯スポーツセンターコート

奈良市柏木球技場

奈良市南部生涯スポーツセンター球技場

奈良市南部生涯スポーツセンター多目的コート

奈良市鴻ノ池スケートボードパーク

奈良市鴻ノ池ランニングステーション 以上13施設

奈良市中央武道場等4体育施設

利用者数 109,777人 (△5.2%)

奈良市中央武道場

奈良市中央第二武道場

奈良市弓道場

奈良市鴻ノ池相撲場 以上4施設

奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール等18体育施設

利用者数 268,324人 (△2.0%)

奈良市緑ヶ丘球場

奈良市西部生涯スポーツセンター体育館

奈良市青山プール

奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール

奈良市黒谷コート

奈良市平城第一コート

奈良市平城第二コート

奈良市青山コート

奈良市佐保山コート

奈良市西部生涯スポーツセンターコート

奈良市黒谷球技場

奈良市平城第一球技場

奈良市平城第二球技場

奈良市奈良阪球技場

奈良市登美ヶ丘球技場

奈良市西部生涯スポーツセンター球技場

奈良市西部生涯スポーツセンターゲートボール場

奈良市西部生涯スポーツセンタークラブハウス 以上18施設

奈良市鴻ノ池陸上競技場等13体育施設を指定管理者の奈良市スポーツまちづくり推進パートナーズ代表ミズノスポーツサービスと協働で管理運営を行い、各施設で記録会や大会を開催した。「Top Sports City 奈良」のパートナーチームであ

るプロサッカーチーム「奈良クラブ」がＪ３リーグをロートフィールド奈良で開催し、プロバスケットボールチーム「バンビシャス奈良」及びプロバレーボールチーム「奈良ドリーマーズ」がロートアリーナ奈良、奈良市西部生涯スポーツセンター体育館で試合を開催した。奈良市鴻ノ池陸上競技場補助競技場は第３種公認としてフィールドが芝生化された。奈良市中央体育館は館内の大規模な改修工事が行われ、奈良市柏木コートはフェンス改修工事、奈良市鴻ノ池運動公園の中央駐車場と奈良市鴻ノ池球場に設置されていた歩道橋は老朽化のため、撤去された。

奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール等１８体育施設では、温水プールのトップライト張替、更衣室改修、空調工事のため６ヶ月間臨時休館し、体育館棟の会議室は、空調故障のため５ヶ月間使用中止にした。

（事業内容）

体育、スポーツ及び武道の普及振興を図ることにより、健全な心身の維持及び発達並びに明るく豊かな生活の形成に寄与するための事業を実施した。

○奈良市鴻ノ池陸上競技場等１３体育施設

奈良市スポーツ協会に加盟している各種団体と連携して競技スポーツの教室や健康増進につながる事業を実施した。また、バンビシャス奈良と提携してバスケットボールスクールを開催した。また、民間企業とタイアップし「モルック大会」、「親子サッカー教室」を開催した。

催事等の開催回数 ６８３回 参加人数 １３，３４１人

○奈良市中央武道場等４体育施設

武道発祥の中心地として、剣道・柔道・なぎなた・槍術・弓道等の各種武道関連団体との連携協力のもと武道教室を開催し、人格の形成、道徳心の向上、礼節を尊重する心の養成を図るとともに、武道人口の裾野の拡大及び武道の更なる発展・活性化に努めた。また、日本を訪れる外国人観光客向け事業の弓道体験教室はより多くの体験機会を提供できるよう日程を増やして開催した。

催事等の開催回数 １，３２８回 参加人数 ２３，８８８人

○奈良市西部生涯スポーツセンター屋内温水プール等１８体育施設

体育館を活用した「ダンベル教室」や「ストレッチ教室」等を実施した。新規事業としてバンビシャス奈良と提携して幼児から小学６年生までのバスケットボールスクールを開催した。

屋内温水プールの臨時休館で「水泳教室」、「水中健康運動教室」が開催できなかったことから前年度より事業の開催回数、参加人数はともに減少した。

催事等の開催回数 ５３７回 参加人数 １２，１９４人

(3) まちづくり振興事業

[指定管理施設]

管理施設の入館者数は以下のとおりであった。 ※（ ）内は対前年度増減率

奈良市ならまちセンター	入館者数	112,480人（ 1.3%）
奈良市音声館	入館者数	29,097人（△33.1%）
入江泰吉記念奈良市写真美術館	入館者数	27,912人（ △2.0%）
入江泰吉旧居	入館者数	6,876人（ 19.7%）

奈良市ならまちセンターでは、1階エントランスホール改修工事により貸館再開や事業開催が7月からとなったが、市民団体と地域コミュニティ活性化を目的とした芸術アート事業を実施し、約1,400人の増加となった。

奈良市音声館は、空調機の故障及び改修工事に伴う貸館休止の影響もあり、約14,400人の入館者数減少となった。

入江泰吉記念奈良市写真美術館における入館者数は、前年を下回り2%の減少となった。韓国の写真家アン・ジュン氏や木村伊兵衛写真賞最終候補の中西敏貴氏等、話題性のある写真家による展覧会を開催したほか、昨年度に引き続き奈良女子大学との連携協力によって若年層への写真芸術の普及にも努めたが、入館者数の大幅な増加にはつながらなかった。

一方、入江泰吉旧居においては、東大寺旧境内という立地条件の良さに加え、奈良を訪れる観光客の増加もあって前年より約1,100人増加した。

（事業内容）

なら・まほろば景観まちづくり条例に基づく奈良町都市景観形成地区を中心とした「ならまち」において、地域の文化振興・活性化のための事業及び広報啓発事業を実施した。

○奈良市ならまちセンター

新しくリニューアルオープンしたエントランスホールを拠点に、地域住民が自然に集い、つながりを深め、地域の活性化を促す事業を開催した。

地元の演奏家を起用した「ならまちコンサート」等の若手アーティスト支援事業や地域文化団体の活動を支援する「子どもおん祭り」等の地域連携型事業、民間事業者と協働開催する「ならまちDeシネマ」等の共催事業、芝生広場では奈良市総合財団各施設のPRを目的とした「ゆかいな仲間達マルシェ」等の芝生活用事業を実施した。また、奈良市ふるさと納税を活用した「暮らしに芸術の感動を届けるプロジェクト」と題したアウトリーチ事業のほか、前年度まで奈良市音声館で実施していた伝統文化普及事業を引き継いだ地域コミュニティ活性化事業計20事業を実施した。

定期的なイベントやワークショップを通じて、住民のつながりを強化するだけでなく、地域ビジネスや非営利団体を支援した。

催事等の開催回数 161回 参加人数 67,895人

○奈良市音声館

市民が気軽に音楽に触れ文化活動に参加する機会を提供するとともに、施設へ足を運ぶ機会を拡充するための「気軽に音声館へ～スタインウェイピアノを弾いてみよう～」を開催した。

催事等の開催回数 10回 参加人数 641人

○入江泰吉記念奈良市写真美術館

展示事業では、当館初となる海外作家韓国の写真家アン・ジュン氏を紹介した。また、写真界の芥川賞とも称される木村伊兵衛写真賞の最終候補者である中西敏貴氏を取り上げる等、話題性のある写真家の作品を展示した。

さらに、「写真の町」宣言を行っている北海道・東川町と連携し、「写真の町東川賞 海外作家賞受賞作品展」を開催。歴代の東川賞海外作家賞受賞者の作品を通じて、写真芸術の多様性を紹介した。

昨年度に引き続き、奈良女子大学と連携協力し、文化庁「大学における文化芸術推進事業」の一環として、大学と当館の強みを活かした展示事業を展開した。テーマを「複製される感性」とし、世界的に活躍するジョアンナ・ピオトロフスカ氏に加え、若手作家の桑迫伽奈氏、斉藤思帆氏の作品を取り上げた。

また、当館所蔵の工藤利三郎と入江泰吉、帝塚山大学所蔵の永野太造による仏像写真を紹介し、それぞれの視点による表現や文化財へのまなざしを比較した。さらに、入江泰吉の代表作を「塔のある風景」や「大和し美し」と題して取り上げ、1960年代・1970年代といった撮影年代ごとの作品から、作風や撮影姿勢の変化を読み取る内容とした。

館外事業としては、帝塚山大学客員教授・関根俊一の監修による巡回展「奈良大和路のみほとけ―古寺巡礼」に作品を出品し、山口県立美術館、MIHO MUSEUM、山梨県立博物館において奈良の魅力を紹介する事業に寄与した。加えて、新潟市會津八一記念館で開催された「會津八一と大和路―入江泰吉と杉本健吉とともに―」にも作品を出品した。

昨年度より取り組んでいるメタバース実証事業では、奈良市立月ヶ瀬小学校、都祁小学校、当館講座「高畑デジタル写真倶楽部」、奈良女子大学との連携による「あゝ複製される感性」の4企画を展開。それぞれに協力し、仮想空間内での展覧会として構築した。また、奈良女子大学との連携による「出張美術館―マインクラフトで遊んで写真を学ぶ」事業を、吉野郡川上村、月ヶ瀬、都祁の3ヶ所にて実施し、子どもを対象とした当館活動の普及にも取り組んだ。

催事等の開催回数 77回 参加人数 28,072人

○入江泰吉旧居

観光客の増加に伴い、旧居を訪れる観覧者も増加した。加えて人気講座の回数を増やしたこともあり、参加人数は前年を上回った。一方で、実施した講座においては、設定していた参加人数に達しないケースも見受けられた。今後は、講座内容の充実と広報戦略の見直しを含めた事業展開を行っていく予定である。

催事等の開催回数 40回 参加人数 314人

(4) 勤労者福祉サービス事業

[指定管理施設]

管理施設の入館者数は以下のとおりであった。 ※（ ）内は対前年度増減率

奈良市勤労者総合福祉センター 入館者数 57,679人 (8.3%)

施設の利用者数、主催事業回数、参加数は昨年度を上回り入館者数は増加した。

(事業内容)

地域経済の担い手である中小企業勤労者を対象に、福祉の向上及び余暇活用の充実、生活の安定を図るため、総合的な福祉事業を実施した。

○奈良市勤労者総合福祉センター

パソコン教室やヨガ教室、陶芸教室のほか、各種教室を開催した。

催事等の開催回数 76回 参加人数 7,065人

○勤労者福祉サービスセンター事業部門

企業内福祉をサポートする役目を担い、勤労者の福利厚生の実施に役立つ事業を実施した。具体的には、市内の中小企業の事業所に対し、福祉事業の内容について広報を行うとともに加入の促進を図った。また、福利厚生事業として会員及びその家族を対象に、施設割引利用、会員の相互扶助を基本とした各種給付事業、健康維持・健康増進事業及び文化各種教室の受講費補助を行う健康管理事業並びに貸付斡旋事業を実施した。

本施設における各事業に対する利用者数

施設利用事業	延べ人数	14,571人
健康管理事業	延べ人数	2,755人
給付事業		875人
厚生事業（催事等）	5回	868人

(5) 都祁地域振興事業

[指定管理施設]

管理施設の入館者数又は利用者数は以下のとおりであった。

※（ ）内は対前年度増減率

奈良市都祁交流センター 入館者数 11,698人 (△4.0%)

奈良市都祁体育館	利用者数	7, 1 4 5 人 (△ 3 0. 2 %)
奈良市都祁生涯スポーツセンターコート	利用者数	4, 2 5 2 人 (2 2. 8 %)
奈良市都祁生涯スポーツセンター球技場	利用者数	2 1, 0 6 9 人 (2 9. 3 %)
奈良市都祁生涯スポーツセンター多目的コート	利用者数	7 2 2 人 (2 1 6. 7 %)
奈良市都祁生涯スポーツセンタークラブハウス	利用者数	2 2 0 人 (— %)

奈良市都祁交流センターは、昨年まで利用されていたサークル活動の解散及び活動の縮小により、4 8 9 人の減少となった。

奈良市都祁体育館は、子どものバレーボールクラブの練習場所が地元小学校へ変更になったことにより 3, 0 9 0 人の減少となった。

天候により左右される奈良市都祁生涯スポーツセンター等 4 体育施設は、球技場の利用者数は、4, 7 7 9 人、テニスコートは 7 9 0 人の増加となった。多目的コートについては、ミニサッカーの練習を定期的に行う団体が定着し、4 9 4 人の増加となった。

(事業内容)

「つげ映画祭」は地域の映画会が急遽日程変更となり開催時期が重なったため中止した。また、地域間・世代間交流事業としてヨーガ教室と新規事業としてスローエアロビック教室を実施し好評であった。

協力事業では、8 月に「つげ夏祭り 2 0 2 4」を開催した。夜空を彩る壮大な花火大会や盆踊り等を実施し、地域のお祭りとして世代間交流に繋げることができた。初の試みとして、奈良東商工会と共催し、つげ夏まつりの前夜祭として「都祁マルシェ & ビアガーデンを」開催し、盛況であった。

また、1 1 月には都祁公民館・都祁福祉センター・都祁交流センター 3 館に所属するそれぞれの自主クラブが一同に集い文化祭展示や舞台発表を行う「つげまつり 2 0 2 4」を開催。1 2 月恒例のクリスマスミニコンサートでは、地元中学校吹奏楽部と一般吹奏楽団とのコラボにより盛大に開催することができ、地域間・世代間交流を図ることができた。

催事等の開催回数 2 9 回 参加人数 3, 4 4 3 人

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	264,607,268	248,927,624	15,679,644	
現金	3,595,221	4,847,290	△ 1,252,069	
当座預金	32,000	1,500	30,500	
普通預金	260,980,047	244,078,834	16,901,213	
未収金	15,978,885	40,104,306	△ 24,125,421	
前払金	1,635,030	1,348,120	286,910	
商品	3,049,823	3,102,297	△ 52,474	
貯蔵品	1,067,601	54,206	1,013,395	
立替金	41,440	0	41,440	
流動資産合計	286,380,047	293,536,553	△ 7,156,506	
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	50,000,000	50,000,000	0	
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0	
(2) 特定資産				
財政変動準備積立金	132,000,000	132,000,000	0	
減価償却引当預金	2,738,791	2,738,791	0	
書道芸術振興積立金	37,006,552	36,703,570	302,982	
永年在会給付事業積立預金	4,350,742	4,218,742	132,000	
運営基金積立準備預金	5,803,291	5,628,291	175,000	
共済事業引当預金	50,523	408,523	△ 358,000	
記念事業費積立預金	3,484,983	3,484,983	0	
特定資産合計	185,434,882	185,182,900	251,982	
(3) その他の固定資産				
車両運搬具	1	2	△ 1	
什器備品	508,336	621,667	△ 113,331	
リース資産	24,628,560	14,407,800	10,220,760	
預託金	9,140	9,140	0	
その他固定資産合計	25,146,037	15,038,609	10,107,428	
固定資産合計	260,580,919	250,221,509	10,359,410	
資産の部合計	546,960,966	543,758,062	3,202,904	
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	122,141,041	99,937,380	22,203,661	
前受金	792,100	728,200	63,900	
預り金	18,225,453	21,456,060	△ 3,230,607	
リース債務	5,608,680	2,686,200	2,922,480	
流動負債合計	146,767,274	124,807,840	21,959,434	
2. 固定負債				
リース債務	19,019,880	11,721,600	7,298,280	
固定負債合計	19,019,880	11,721,600	7,298,280	
負債の部合計	165,787,154	136,529,440	29,257,714	
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
寄付金	86,003,617	86,003,617	0	
指定正味財産合計	86,003,617	86,003,617	0	
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(36,003,617)	(36,003,617)	(0)	
2. 一般正味財産	295,170,195	321,225,005	△ 26,054,810	
(うち特定資産への充当額)	(149,431,265)	(149,179,283)	(251,982)	
正味財産の部合計	381,173,812	407,228,622	△ 26,054,810	
負債及び正味財産合計	546,960,966	543,758,062	3,202,904	

収 支 計 算 書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	7,000	6,935	65	
② 特定資産運用益				
特定資産受取利息	2,000	86,970	△ 84,970	
③ 受取入会金				
受取入会金	175,000	154,000	21,000	
④ 受取会費				
受取会費	35,531,000	35,048,700	482,300	
⑤ 事業収益				
入場料収益	33,486,000	5,963,200	27,522,800	
受講料収益	80,889,000	49,408,270	31,480,730	
利用料金収益	9,007,000	7,621,540	1,385,460	
出品料収益	600,000	532,000	68,000	
参加費収益	1,707,000	1,263,400	443,600	
小売業収益	3,640,000	2,592,570	1,047,430	
受取手数料	2,458,000	3,984,095	△ 1,526,095	
事業受託収益	350,000	446,804	△ 96,804	
共催事業管理収益	10,135,000	12,345,000	△ 2,210,000	
その他収益	1,315,000	2,088,111	△ 773,111	
⑥ 受取補助金等				
受取指定管理料	1,215,804,000	1,218,084,273	△ 2,280,273	
受取地方公共団体補助金	26,002,000	26,002,000	0	
受取民間助成金	0	30,000	△ 30,000	
⑦ 受取負担金				
受取負担金	19,452,000	16,837,950	2,614,050	
⑧ 雑収益				
受取利息	4,000	326,584	△ 322,584	
雑収益	2,422,000	5,566,207	△ 3,144,207	
運営協力金等収益	2,256,000	2,267,769	△ 11,769	
経常収益計	1,445,242,000	1,390,656,378	54,585,622	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
(2) 經常費用				
① 事業費				
給料手当	438,363,000	413,724,828	24,638,172	
臨時雇賃金	61,986,000	49,241,875	12,744,125	
福利厚生費	83,097,000	79,074,939	4,022,061	
視察費	50,000	0	50,000	
旅費交通費	1,155,000	474,310	680,690	
通信運搬費	10,070,000	7,899,297	2,170,703	
減価償却費	4,495,000	4,483,567	11,433	
地方公共団体帰属備品等購入費	895,000	627,422	267,578	
消耗什器備品費	807,000	206,142	600,858	
消耗品費	26,227,000	16,544,133	9,682,867	
修繕費	14,462,000	8,565,812	5,896,188	
印刷製本費	10,711,000	7,331,205	3,379,795	
燃料費	1,485,000	992,740	492,260	
光熱水料費	286,846,000	281,389,028	5,456,972	
賃借料	26,251,000	18,119,811	8,131,189	
保険料	7,220,000	5,319,837	1,900,163	
諸謝金	40,940,000	29,505,509	11,434,491	
租税公課	58,002,000	59,694,110	△ 1,692,110	
支払負担金	928,000	810,260	117,740	
支払助成金	48,135,000	40,296,962	7,838,038	
委託費	334,369,000	295,712,442	38,656,558	
会議費	20,000	3,000	17,000	
支払手数料	8,621,000	4,801,318	3,819,682	
広告宣伝費	2,964,000	1,253,500	1,710,500	
仕入	1,724,000	1,175,887	548,113	
交際費	75,000	61,500	13,500	
原材料費	1,502,000	1,294,150	207,850	
医薬材料費	1,472,000	1,286,450	185,550	
雑費	700,000	610,480	89,520	
② 管理費				
役員報酬	2,683,000	2,616,180	66,820	
給料手当	45,513,000	47,486,376	△ 1,973,376	
福利厚生費	9,074,000	9,076,618	△ 2,618	
研修費	148,000	129,300	18,700	
旅費交通費	14,000	7,180	6,820	
通信運搬費	428,000	387,231	40,769	
減価償却費	135,000	134,404	596	
消耗品費	513,000	327,702	185,298	
修繕費	46,000	133,100	△ 87,100	
燃料費	38,000	27,000	11,000	
賃借料	3,136,000	3,046,010	89,990	
保険料	5,000	3,200	1,800	
諸謝金	1,403,000	1,402,500	500	
租税公課	63,000	79,444	△ 16,444	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
支払負担金	257,000	219,781	37,219	
委託費	2,921,000	2,920,500	500	
支払手数料	185,000	174,319	10,681	
広告宣伝費	1,000,000	906,400	93,600	
雑費	0	20	△ 20	
経常費用計	1,541,134,000	1,399,577,779	141,556,221	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 95,892,000	△ 8,921,401	△ 86,970,599	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 95,892,000	△ 8,921,401	△ 86,970,599	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
① 受取補助金等				
受取地方公共団体補助金	0	11,461,935	△ 11,461,935	
経常外収益計	0	11,461,935	△ 11,461,935	
(2) 経常外費用				
① 固定資産除去損				
車両運搬具除去損	0	1	△ 1	
② 特別退職金				
特別退職金	0	11,461,935	△ 11,461,935	
③ 雑損失				
雑損失	0	6,302,408	△ 6,302,408	
経常外費用計	0	17,764,344	△ 17,764,344	
当期経常外増減額	0	△ 6,302,409	6,302,409	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 95,892,000	△ 15,223,810	△ 80,668,190	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 95,892,000	△ 15,223,810	△ 80,668,190	
法人税、住民税及び事業税	3,002,000	10,831,000	△ 7,829,000	
当期一般正味財産増減額	△ 98,894,000	△ 26,054,810	△ 72,839,190	
一般正味財産期首残高	321,226,000	321,225,005	995	
一般正味財産期末残高	222,332,000	295,170,195	△ 72,838,195	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	86,004,000	86,003,617	383	
指定正味財産期末残高	86,004,000	86,003,617	383	
III 正味財産期末残高	308,336,000	381,173,812	△ 72,837,812	

正味財産増減計算書
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	6,935	6,879	56	
② 特定資産運用益				
特定資産受取利息	86,970	41,219	45,751	
③ 受取入会金				
受取入会金	154,000	153,500	500	
④ 受取会費				
受取会費	35,048,700	35,555,050	△ 506,350	
⑤ 事業収益				
入場料収益	5,963,200	4,608,300	1,354,900	
受講料収益	49,408,270	50,041,995	△ 633,725	
利用料金収益	7,621,540	6,857,880	763,660	
出品料収益	532,000	594,000	△ 62,000	
参加費収益	1,263,400	773,900	489,500	
普及事業収益	0	159,500	△ 159,500	
小売業収益	2,592,570	2,439,770	152,800	
受取手数料	3,984,095	3,296,761	687,334	
事業受託収益	446,804	337,984	108,820	
共催事業管理収益	12,345,000	14,530,000	△ 2,185,000	
その他収益	2,088,111	1,892,525	195,586	
⑥ 受取補助金等				
受取指定管理料	1,218,084,273	1,196,049,123	22,035,150	
受取地方公共団体補助金	26,002,000	26,002,000	0	
受取民間助成金	30,000	0	30,000	
⑦ 受取負担金				
受取負担金	16,837,950	17,516,950	△ 679,000	
⑧ 雑収益				
受取利息	326,584	5,796	320,788	
雑収益	5,566,207	5,953,237	△ 387,030	
運営協力金等収益	2,267,769	2,366,959	△ 99,190	
経常収益計	1,390,656,378	1,369,183,328	21,473,050	

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
(2) 經常費用				
① 事業費				
給料手当	413,724,828	455,358,285	△ 41,633,457	
臨時雇賃金	49,241,875	47,733,084	1,508,791	
福利厚生費	79,074,939	87,551,850	△ 8,476,911	
旅費交通費	474,310	517,060	△ 42,750	
通信運搬費	7,899,297	7,131,910	767,387	
減価償却費	4,483,567	2,928,845	1,554,722	
地方公共団体帰属備品等購入費	627,422	3,051,825	△ 2,424,403	
消耗什器備品費	206,142	405,770	△ 199,628	
消耗品費	16,544,133	16,642,277	△ 98,144	
修繕費	8,565,812	11,674,046	△ 3,108,234	
印刷製本費	7,331,205	9,480,112	△ 2,148,907	
燃料費	992,740	1,162,300	△ 169,560	
光熱水料費	281,389,028	262,292,013	19,097,015	
賃借料	18,119,811	23,925,497	△ 5,805,686	
保険料	5,319,837	5,559,062	△ 239,225	
諸謝金	29,505,509	25,521,016	3,984,493	
租税公課	59,694,110	55,523,685	4,170,425	
支払負担金	810,260	4,072,930	△ 3,262,670	
支払助成金	40,296,962	42,326,499	△ 2,029,537	
委託費	295,712,442	285,084,199	10,628,243	
会議費	3,000	3,000	0	
支払手数料	4,801,318	4,674,092	127,226	
広告宣伝費	1,253,500	914,900	338,600	
仕入	1,175,887	1,305,185	△ 129,298	
交際費	61,500	58,000	3,500	
原材料費	1,294,150	1,226,390	67,760	
医薬材料費	1,286,450	1,552,936	△ 266,486	
雑費	610,480	603,930	6,550	
② 管理費				
役員報酬	2,616,180	6,184,300	△ 3,568,120	
給料手当	47,486,376	46,462,821	1,023,555	
福利厚生費	9,076,618	9,335,364	△ 258,746	
研修費	129,300	105,210	24,090	
旅費交通費	7,180	9,160	△ 1,980	
通信運搬費	387,231	300,068	87,163	
減価償却費	134,404	201,505	△ 67,101	
消耗什器備品費	0	55,880	△ 55,880	
消耗品費	327,702	324,301	3,401	
修繕費	133,100	0	133,100	
印刷製本費	0	27,500	△ 27,500	
燃料費	27,000	30,000	△ 3,000	
賃借料	3,046,010	3,109,346	△ 63,336	
保険料	3,200	3,200	0	
諸謝金	1,402,500	1,557,000	△ 154,500	
租税公課	79,444	27,139	52,305	

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
支払負担金	219,781	218,140	1,641	
委託費	2,920,500	2,095,500	825,000	
支払手数料	174,319	197,299	△ 22,980	
広告宣伝費	906,400	0	906,400	
雑費	20	0	20	
経常費用計	1,399,577,779	1,428,524,431	△ 28,946,652	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 8,921,401	△ 59,341,103	50,419,702	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 8,921,401	△ 59,341,103	50,419,702	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
① 受取補助金等				
受取地方公共団体補助金	11,461,935	15,556,385	△ 4,094,450	
② 雑益				
雑益	0	8,750,226	△ 8,750,226	
経常外収益計	11,461,935	24,306,611	△ 12,844,676	
(2) 経常外費用				
① 固定資産除去損				
車両運搬具除去損	1	0	1	
② 特別退職金				
特別退職金	11,461,935	15,556,385	△ 4,094,450	
③ 雑損失				
雑損失	6,302,408	6,681,483	△ 379,075	
経常外費用計	17,764,344	22,237,868	△ 4,473,524	
当期経常外増減額	△ 6,302,409	2,068,743	△ 8,371,152	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 15,223,810	△ 57,272,360	42,048,550	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 15,223,810	△ 57,272,360	42,048,550	
法人税、住民税及び事業税	10,831,000	71,000	10,760,000	
当期一般正味財産増減額	△ 26,054,810	△ 57,343,360	31,288,550	
一般正味財産期首残高	321,225,005	378,568,365	△ 57,343,360	
一般正味財産期末残高	295,170,195	321,225,005	△ 26,054,810	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	86,003,617	86,003,617	0	
指定正味財産期末残高	86,003,617	86,003,617	0	
III 正味財産期末残高	381,173,812	407,228,622	△ 26,054,810	

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科	目	金 額
I 資産の部		
1. 流動資産		
	現金預金	264,607,268
	現金	3,595,221
	当座預金	32,000
	ゆうちょ銀行	32,000
	普通預金	260,980,047
	南都銀行	256,506,373
	近畿労働金庫	4,473,674
	未収金	15,978,885
	前払金	1,635,030
	商品	3,049,823
	貯蔵品	1,067,601
	立替金	41,440
流動資産合計		286,380,047
2. 固定資産		
基本財産		
	定期預金	50,000,000
	南都銀行	10,000,000
	近畿労働金庫	10,000,000
	奈良県農業協同組合	10,000,000
	奈良信用金庫	10,000,000
	大和信用金庫	10,000,000
特定資産		
	財政変動準備積立金	132,000,000
	減価償却引当預金	2,738,791
	書道芸術振興積立金	37,006,552
	永年在会給付事業積立預金	4,350,742
	運営基金積立準備預金	5,803,291
	共済事業引当預金	50,523
	記念事業費積立預金	3,484,983
その他固定資産		
	車両運搬具	1
	什器備品	508,336
	リース資産	24,628,560
	預託金	9,140
固定資産合計		260,580,919
資産合計		546,960,966
II 負債の部		
1. 流動負債		
	未払金	122,141,041
	前受金	792,100
	預り金	18,225,453
	リース債務	5,608,680
流動負債合計		146,767,274
2. 固定負債		
	リース債務	19,019,880
固定負債合計		19,019,880
負債合計		165,787,154
正味財産		381,173,812